

みなさまの「ヒヤリ体験」をお聞かせください

お願い

交通事故件数は、ここ数年減少傾向にあります。さらなる安全なまちづくりを目指すことは非常に重要な課題です。

松戸市役所では、道路の安全性を高める施策に取り組んでおり、今回の調査は、みなさまの交通安全に関わる危険な体験を把握しようと企画したものです。

普段、歩いて、自転車で、あるいは自動車で毎日のように道路を通行されると思いますが、その際、事故には至らなかったものの「ヒヤリ!」とした、「ハッ!」とした経験は多くの方がお持ちのことと思います。この調査では、その体験が、どのような状況で発生したのかを調査させていただき、今後の参考にさせていただくものです。

本調査の主旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<アンケートのご記入にあたって>

- 1) 質問にお答えいただいたアンケート用紙のうち、右上に「回答用紙」と書かれたものを封筒に入れていただき、ご提出してください。
- 2) お手数ですが、提出期限は平成 18 年 2 月 20 日(月)でお願い致します。
- 3) 皆様の回答は、全体としての数を統計的に処理しますので、記入内容が公表されたり、他の目的に使用されたりすることはありません。
- 4) 万が一アンケート調査が重複した場合、どちらか一方を提出くださるようお願いいたします。
- 5) 今回のアンケート調査に関するお問い合わせについては、下記へご連絡して頂きますようお願い致します。

【調査機関・問合せ】

松戸市 都市整備本部 建設担当部 建設総務課

〒271-8588 松戸市根本387-5

担当者：鈴木秀和 ・ 渡辺 直

T E L : 0 4 7 - 3 6 6 - 7 3 5 7

F A X : 0 4 7 - 3 6 5 - 9 1 0 7

アンケートのご回答方法

- 1) はじめに、あなたの住所、年齢等をご記入ください。
- 2) 次に、松戸市とその周辺地域の幹線道路およびあんしん歩行エリア内の道路を対象として、あなたのヒヤリとした場所について、1箇所につき1枚、用意してあるアンケート用紙裏面の地図(拡大図)中に 印をつけてください。
- 3) そして、そのヒヤリとした内容について、「記入例」を参考に、地図で記入した箇所毎に「ヒヤリ体験に関するアンケート」にお答えください。
- 4) 「ヒヤリ体験に関するアンケート」の用紙は2枚(両面印刷)用意しておりますので、できる限りたくさんのご回答をしていただければ幸いです。また、ヒヤリ体験が多く、用紙が足りない場合は、申し訳ありませんがコピーしてご回答していただければ幸いです。

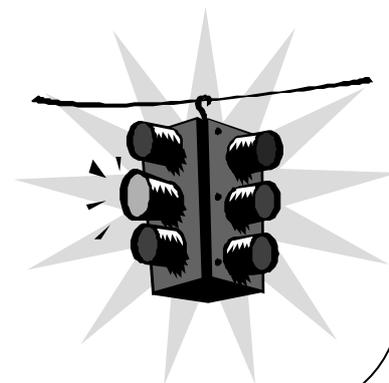
ヒヤリ体験の定義と事例

定義: 交通事故には至らないものの、一歩間違えれば交通事故になる可能性が高かった体験。

事例1: 国道6号線を南に通行していたところ、小さな左カーブがあり、簡単に曲がれると思ってスピードをそれほど抑えず走行したところ、実際には急なカーブで、対向車線にはみだしそうになり、ヒヤリとした。

事例2: 通りを西に向かって走行していたところ、クリーニング屋さんの交差点を左に曲がったとき、横断歩道を歩行者が横断していて、衝突しそうになり、ヒヤリとした。この交差点は見通しが悪いと思う。

事例3: 松戸駅から へ向かう道路の 交差点で、市道を横断するため子供と信号待ちしているとき、市道から左折する車がスレスレを通りヒヤリとした。



以下の資料をお送りいたします。ご確認ください。

不足資料、ご不明な点等ございましたら、お手数ですが資料2に記載されております、調査機関までご連絡ください。

- ・案内状
- ・資料1. みなさまの「ヒヤリ体験」をお聞かせください
アンケートのご回答方法
- ・資料2. ヒヤリ体験に関するアンケート票 ***提出用**
- ・資料3. アンケート 地図 (記入例)
- ・資料4. アンケート 地図 ***提出用**

ヒヤリ体験に関するアンケート票

該当するものに 印をつけて、ご記入ください。

あなたの居住区域 (裏面地図から選択)	A	B	C	D	E	その他()
年齢	10歳未満(子供が体験したのを目撃)		10歳代	20歳代		
	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上		
性別	男	女				
運転免許証の有無と運転頻度 (複数回答可)	持っていない		〔運転頻度〕			
	自動車(普通第一種)		ほぼ毎日	週に1.2日	月に2.3日以下	
	原付・自動二輪免許		ほぼ毎日	週に1.2日	月に2.3日以下	
	その他(免許)		ほぼ毎日	週に1.2日	月に2.3日以下	

資料 4

このアンケート票には、裏面の地図で記入した箇所について、1 箇所 1 枚(片面)でご記入ください。

1. その体験をした時間帯および天候を、番号でご記入ください。

時間帯 ()

朝(6 時台~9 時台) 昼(10 時台~15 時台) 夕方(16 時台~19 時台)

夜(20 時台~23 時台) 深夜(0 時台~5 時台) 不明

天候 ()

晴又は曇 雨 雪 その他()

その体験について「見取り図」を描いたうえ、下記の質問にご回答ください。
(なお、回答に当たっては、別紙の「記入例」もご参考ください。)

【見取り図の記入】

注) 図面には、下記事項を忘れずにご記入ください。

- ・相手との位置関係
(どの方向からどの方面への右折や左折か等)
- ・目印となる建物
(ガソリンスタンド、コンビニ等)
- ・道路名
(国道 号線、 道等、分かる範囲でご記入ください)

2. 1 あなたと相手はどのような「交通手段」でしたか? ご記入ください。

あなた() 相手()

自動車(大型・バス含む) 二輪車(原付含む) 自転車 歩行者

その他 相手なし

2. 2 あなたと相手はどのような「行動」をしていましたか? 番号をご記入ください。

あなた() 相手()

自動車・二輪車の場合: 直進 右折 左折 車線変更 駐停車 その他

歩行者・自転車の場合: 道路に沿って歩行・進行中 道路を横断中 その他

回答用紙

2. 3 左記で選択した「行動」を含めて、「どのような場面」となり、ヒヤリとしましたか? 分かる範囲で、具体的な状況をご説明ください。

()

3. その体験となった原因は何だと思いますか?

3. 1 「あなたや相手の原因」について最大3つまで、番号をご記入ください。

あなた()()() 相手()()()

スピードの出しすぎ 信号無視 駐停車違反 前方不注意(脇見、漫然運転等)

横断歩道外の横断(飛び出し含む) 安全不確認(前方、後方、左右等)

その他()

3. 2 「道路や信号の原因」について分かる範囲で具体的に記入ください。
(例えば、「見通しが悪い」「信号が複雑」等)

()

4. その体験をしないため、今後の改善点があればご記入ください。

(例えば「横断歩道を設置する」「スピードを抑制する対策をする」等)

()

ご協力ありがとうございました。